# ワイドパワー®フロアブル

■種 類 名：ペノキススラム･ベンタゾン水和剤
■有効成分：ペノキススラム---------- 0.67%
　　ベンタゾンナトリウム塩（ベンタゾン）---------- 35.4%

■登録番号：第24956号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2025.03.12
■性　　状：暗赤紫色水和性粘稠懸濁液体
■有効年限：3年
■包　　装：500ml×20本

**【特長】**

- ペノキススラムとベンタゾンの2つの有効成分を含有した水稲用中・後期除草剤で、10a当りの使用薬量は500mlである。
- 高葉齢のノビエに対して高い効果を発揮（ノビエ６葉期まで）。
- ノビエをはじめとしたイネ科雑草、一年生広葉雑草、多年生広葉雑草まで幅広く防除可能。

**【適用内容】**（2025年3月末日現在）

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ペノキススラムを含む農薬の総使用回数 | ベンタゾンを含む農薬の総使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 薬量 | 希釈水量 | | | | |
| 移植水稲 | 一年生雑草<br>多年生広葉雑草 | 移植後20日～ノビエ6葉期<br>但し、収穫45日前まで | 500ml<br>/10a | 100㍑<br>/10a | 1回 | 落水散布又はごく浅く湛水して散布 | 2回以内 | 2回以内 |

**【効果・薬害等の注意】**

- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよくふること。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
- 薬害のおそれがあるので展着剤は添加しないこと。
- 本剤は水の移動に伴う移行性が大きいので、一般に水深が浅いほど効果が安定する。
  - ◆ できるだけ落水状態（足跡に水が残っている状態）にして、水の出入りを止め、まきむらのないように均一に散布すること。
  - ◆ 水を落とすことができないところでは、漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態（雑草が水面上にでる状態）にしてまきむらがないように均一に散布すること。
  - ◆ 散布後2日間はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流ししないこと。また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないこと。
  - ◆ 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時の使用が望ましい。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように適期に散布すること。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの6葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ミズガヤツリは草丈20cmまで、ウリカワは4葉期まで、オモダカは矢尻葉5葉期まで、クログワイ、シズイ、コウキヤガラは草丈30cmまで、ヒルムシロは発生盛期まで、セリは増殖期までが本剤の散布適期である。
- クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラの防除は、必要に応じてそれぞれの雑草に有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。
- 砂質土及び漏水のはげしい水田では使用しないこと。
- 軟弱稲もしくは5葉期未満の稲では薬害のおそれがあるので使用はさけること。
- 薬害のおそれがあるので重複散布をさけること。
- 高温条件下では、薬害が生じやすいので異常高温下での散布はさけること。
- 本剤の使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけること。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

**【安全使用上の注意】**

- ❖ 誤食などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン･長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼･うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。